さ SA く KU ら RA

8月

August 2020

発行／ボーイスカウト世田谷第５団広報部

ビーバー隊

7 月 12 日　シーターポン作り

ビーバー隊隊長　草島隆行

普段は年度頭にやるシーターポン作りです。屋内活動を自粛していましたがいつまでも自粛もできないため、実施してみました。

まずは画用紙両面に絵を描いてもらいます。例年何を描くかとても悩むスカウトがいるのですが、今年は例年以上にみんな悩んでいましたがなんとか終えて次は毛糸で縫っていきます。ここは概ねうまくいって無事に終了できました。

コロナ対策で室内で大声を出さないように心がけてはいましたが、やはり色々あってそれは無理でした。。。スカウトが飽きて勝手に遊び出したりすると結果としてリーダーからも大声を出さざるをえなくなるので、今後はスカウトが飽きないような室内プログラムを考える必要性を感じました。

7 月 26 日　登山（山手線内で一番高い山）

ビーバー隊隊長　草島隆行

運動不足解消のため登山企画としました。挑むのは山手線内最高峰、戸山公園内箱根山です。前日までの予報とうって変わって当日朝は激しい雨予報。雨具持参を急遽呼び掛ける羽目となりました。集合時間では早くも雨でしたが、東新宿の駅を出ると晴れ。嬉しいことに普通にハイクができました。

標高４４メートルの箱根山登山はあっという間に登れましたが、雨上がりのせいかトカゲがいて、スカウトたちは山頂でとかげ探しに夢中です。その後下山し、公園内のアスレチックに向かいましたが、やはりアスレチックもそこそこにとかげ探しに夢中でした。とかげを捕まえて絵に描いたようなとかげの尻尾切りを体験するなどとてもいい経験ができたと思います。登山そのものは東新宿駅のホームから地上に出る階段の方がきつかったくらいですが、普段接することが難しいトカゲ探しという貴重な経験が出来ました。

カブ隊

7月５日　大使館ハイク

副長　太田雄介

　2年前から始めた大使館ハイク。地元の世田谷区に始まって、去年は隣の目黒区、今年はそのまた隣の渋谷区にある大使館を巡ることになりました。代官山駅からの徒歩圏内には各国の大使館が集中していて、今回は過去最多の８カ国を見て回ることになります。
　九品仏に集合してからの出発。今期初の電車移動だったのですが、そのことをすっかり忘れていて電車の乗り方について初めに説明しなかったために、乗車時には少し手間取ってしまいました。代官山の駅からは徒歩でリビア大使館を目指します。風が吹いていなかったので掲げられた国旗は下を向いていましたが、スカウトたちはみんな、色や柄をにらんで覚えていました。デンマーク、エジプト、セネガルと、旧山手通り沿いにある大使館を見たあと、西郷山公園に到着。そこで前半の４ヶ国について、写真を見せながらの地理や歴史の説明をした上で、国ごとに「国旗当て問題／地図上の場所当て問題／ちょっとだけ難しいクイズ」を出題しました。リビアのクイズを出している最中に雨が降り始めたので、近くのトンネルの中へ避難。4ヶ国目のクイズが終わった頃には小雨になったので、再び公園に移動してランチを摂りました。午後は残りの4ヶ国の大使館をまわります。また雨が降ってきていたので、レインコートを着ての行進です。静かな住宅街を練り歩いたのですが、みんな騒いだりせず行儀よく見て回れたと思います。各国の経済力がそのまま大使館の建物の大きさや構えに現れており、そのことに気づく子も何人かいました。後半はマレーシア、UAE、ウガンダ、ギニア。西郷山を下ってふもとにある菅刈公園で、その４ヶ国の説明とクイズをしました。
　クイズ終了後はカブブックの履修。その裏で採点をして、公園を出発する前に結果発表をしました。優勝は3組でした。24点満点のなか、組ごとの平均点を競いましたが、17.4点の組から20.4点の組までと、大きな差は出ませんでした。大人も子どもも関係なく楽しんでもらえて、7～８割くらいの正答率になればいいな、と思いながら問題を作っていたので、だいたい狙い通りの結果になってよかったと思いました。優勝の3組には、紙粘土製（だけどピカピカの）大使館ハイクメダルを贈呈しました。
　帰りは目黒川沿いを歩きながら中目黒駅を目指し、電車で九品仏へ戻りました。途中、何度か雨に降られたのは残念でしたが、無事に8ヶ国の大使館を回ることができてよかったです。
　聞いたことがある国、今回初めて知る国、自分が生まれた国（なんて子もいたのです）、いろいろあったと思いますが、スカウトたちはこのあとテレビで見たり学校で習ったときに、ああ、大使館を見たあの国！なんて思い出してくれたらいいな、と思っています。

2組 DL 福部志保

　7月5日、新年度二回目の活動は大使館巡りをしながらのハイクでした。
　代官山駅から山手通り沿いや住宅地を歩いて点在する8ヵ国の大使館を巡り、国毎の特色をまとめた写真や地図を見ながら説明を聞いたり、大使館に掲揚されている国旗を覚えました。

班対抗の形式でクイズがありましたので子供達も真剣にお話を聞いていました。
梅雨時期とあって雨が降ったり止んだりのあいにくの天候でしたがトンネルの下や公園の木陰を利用するなどしてクイズの出題や昼食を済ませる事が出来ました。
私の担当する二班はクイズでは僅差の二位だったのですが「惜しかったね」と声を掛け合う子供達の姿に班の絆が深まったような気がして嬉しかったです。
子供達は自粛明けで身体を動かす機会が減っていたためか久しぶりの長時間の移動に疲れた様子も見られましたが副長の皆様のサポートのお陰で全員が完歩する事が出来ました。
私自身はDLとして二回目の活動でまだまだ付いていくのがやっとでしたが、今後子供達と一緒に成長していけたらと思っております。

2組しか　都筑穣

久しぶりのハイクで疲れました。
自分の生まれた国の大使館に行ったので嬉しかったです。雨が降ったので大変でした。
次のハイクは晴れて欲しいです。

4組しか　佐藤馨太

活動中、途中から雨が降り出したときは、大丈夫かなと思いましたが、最後まで活動ができてよかったです。長いきょりを歩いたのでつかれましたが、次回もがんばりたいです。

7月19日
ロープ＆ゲーム、歌

副長　本間千香

7月19日の活動はてくたくハイクの予定でしたが今年は毎日天気が読みにくく　前日の会議で活動を変更し　夏季舎営の為の活動に変更いたしました。
当日は雨も降らず　久々の太陽が出てハイク日和になってしまいましたがスカウトたちは　今年度初のロープワークや舎営での歌やゲームで　大盛り上がりでした。
外出も制限され家での生活が多くなってしまった分
ロープワークを学習やゲームの合間にやってくれると嬉しいですね。
舎営での　歌もお風呂の中で歌ってくれるのもいいな～
1ヶ月後の夏季舎営が楽しみですね。
しっかり食べてしっかり睡眠をとる毎日を送って備えましょう。

3組 DL 都筑竜彦

テクタクハイクの予定であったが、前日の雨予報及び、ハイクでは拓本を取ることから、小雨でも実施出来ないことを鑑み、早々に雨プロに切り替えられた。
日が明けてみると、梅雨の中休み的にすっきりした天気となったが、雨プロにて活動。
スカウトの基本の一つであるロープ結びをゲームを交えながら学んだ。対戦形式では大いに盛り上がり、楽しみながらできました。
そして、夏季舎営での営火における歌とゲームを一通り練習しました。既に舎営を楽しみにしているスカウト多いのではないでしょうか。約1ヶ月、体調管理をしっかりし当日を迎えましょう。

1組　しか　水野百々福

僕はロープが苦手で最初はこれ絶対無理だと諦めてて、でも意外と結び方が簡単だったからゲームでも一点稼げる事ができた。
意外と難しそうなゲームだったけど、やってみると簡単だった。
バンと打つ時に盛り上がって楽しかった。

3組 しか 渋谷陽太

今日は、ロープの「八の字」の数の競争や「もやいのガンマン」をやって楽しかったです。
最後にチャレンジ章の「のりもの博士」をやっともらえたことも嬉しかったです。

2組　山口祐

モヤイ結びや八の字結びが速く出来て嬉しかったです。　そして、歌や踊りをキャンプでする事が楽しみです！

ボーイ隊
6月28日　隊集会
ウッドクラフト　＠多摩川ベース

オットセイ班 佐藤陽仁

今回のボーイスカウトの活動は班別で立ちかまどを作りました。僕たちの班(オットセイ)には、たちかまどを作った事がある人が僕も含めて2人しかいませんでしたが、新しく入ってきた子は予習をしてきてくれたからか、とてものみこみが早く、自分が想像していた時間よりもずっと早く終わりました。しかし、まだ力がたりず、結び目が緩いところがあったり、まだしっかり結び方を覚えられてない子がいたので、今後の活動を通して教えていけたらと思います。

オットセイ班 石井聖矢

僕は今日、竹を使ってかまどを作りました。紐で竹と竹を強く結んだり、高さを合わせたりして作りました。最初は、結ぶのが難しくて出来なかったけど、斑の人たちの結び方を見ていたら結べるようになりました。足手まといにならないように作業を頑張りました。作業が終わって審査の時、ちゃんと出来ているか不安になりました。結果は１位にはなれなかったけど、見た目が良いと褒められたのがうれしかったです。注意点で、強度がぐらぐらしている・高さが足りないと注意されたので、次のかまど作りでは、言われた注意点を気をつけて作りたいと思いました。

カモメ班 高木彩多

角しばりを覚えることができました。たくさんロープを竹に巻くよりも丁寧に力をいれて巻くことが良い、と教わったので、丁寧に組み立てました。優秀賞をとるこ

とができてうれしかったです。今度作る時は水平に組み立てたいです。

トナカイ班 村山太河

今回の活動は、新班編成では初めての立ちかまど作りでした。立ちかまどを作るにあたって、経験者が僕を含めて班の中で2、3名しかいなかったので、後輩たちに「立ちかまどとは何か」、「結び方はどうやるのか」、という話をしてからのスタートでした。僕も一回しか作ったことがなかったので、説明も難しく、ロープ結びを思い出す時間もあって、スタートが遅れてしまいました。さらに暇をしている班員への指示出しなど、班長としての役目を果たせていない部分があったので、技術の面を含め、実力不足を痛感しました。仕事としても、個人としてもまだまだ足りてない部分があったので、残り出席できる活動は二回と少ないですが、成長していきたいです。そして休隊前までには一級を取れるよう頑張りたいです。

7月12日　1dayキャンプ
＠野毛公園，玉川堤防第三京浜付近

オットセイ班 長井達大

　僕は、肉とサケを持っていく係で冷凍をしてしまい、解凍できましたが冷凍しなくてよいなど準備を学びました。主に火を石井くんと担当していました。僕は家族でキャンプに行ったりしていたので石井くんに教えることができ、初回の目標をして行けていると実感しました。美味しい料理を結果的に作れたので良かったです。他のdayキャンプは期末テストの予定で行けるか分からないけど、ナタの使い方とかも知れて充実した時間を過ごせました。

カモメ班 佐藤彬

　テント作りは、暑さが大変だったけど完成してよかった。

トナカイ班 榎土守

　今回のボーイスカウト活動では、初めてのテント設営をしました。テント設営は、八人から十人ぐらい入れる大きさのテントを、二時間ほどかけて班全員で設営しました。印象に残った事は、思っていたより大幅に時間がかかった事です。テントの大きさが思っていたより大きかったのと、もっと簡単なつくりだと思っていたけど、予想より難しくて終わった後は、熱中症になりそうなぐらい汗がだらだらでした。でも、みんなで作った大きなテントは、思っていた通り暑かったけど、楽しかったです。

カモメ班　石井優也

　久しぶりの参加で、少し緊張しました。
　キャンプの練習でテントを張ったのですが、僕は長い間テントを張っておらず、やり方を忘れてしまいました。班長も早退していたので、結局１つ下のスカウトが仕切ってくれて、なんとかテントを張ることができました。今年は、キャンプなども中止になりそうで、来年は今以上に張り方を覚えていないと思うので、できれば家で復習しておきたいと思います。
　テントを張るのが、最初は面倒くさいと感じていましたが、基礎を見直すいい機会になったと思うので参加してよかったです。

トナカイ班 今林武士

　新体制になって初めての活動で天候の悪い中、班長以下新人３人を含めてテントの設営をしました。試行錯誤して3時間かかりました。今までは先輩の指導を受けて行動するだけだったのが新人に方法を上手く伝えなければないという立場になり、教えるためには再度勉強して確認しなければならないと今回の事で強く感じました。

7月19日　陣場山登山

カモメ班　大野敬典

　今日は久しぶりに山登りだった。目標の山までは行くことができませんでした。そこは残念でしたが、お天気もよく久しぶりに自然の中で活動して、とても楽しかったです。

トナカイ班　河津颯太

　正直登りたくなかったけど、前に一回ボーイスカウトに行かなかったから登ったけど、途中で気持ち悪くなってしまって山を降りることになってしまいました。悔しかったです。

オットセイ班　河田晴太郎

　ボーイで今年初めての登山だった。登山だけだったので荷物は軽いと思ったが、意外と重かった。急な階段やゴツゴツした道が多く、足にかなり負担がかかったが、晴れていて本当に良かったと思う。時間がなく、別の山に登ることができなかった。帰りはバスの予定だったが歩きで帰ることになり、後輩たちはかなり疲れていて心配した。暑さで皆が倒れそうになった。僕は今回班長だったが、けっこう大変だと思った。高尾駅で、リーダー方から冷たい飲み物をいただいた時は、本当に嬉しかった。また今度も山登りに挑戦したい。

カモメ班　石井優也

　山に登るのは一年ぶりくらいだったので、最初は不安でした。
　山登りは、つらいことにはつらいのですが意外と疲れずに登って降りることができたと思います。
　ただ、他の人の荷物を持って歩くところもあったので、そこは少しきつかったです。以前参加した登山のときに、自分の荷物を先輩に持ってもらったかどうかは覚えていませんが、もし持ってもらっていたならその人の苦労がよくわかりました。次回の登山では、もう少し自分の荷物を減らせるように準備をします。

カモメ班　高木彩多

　高尾山は幼稚園生の時から登っているからとても簡単だと思っていましたが、稲荷山コースはしんどかったです。
　景信山には登れなかったけど、久しぶりに遠出して山道を歩けて良かったです。

カモメ班 佐藤彬

僕が登るのが遅くて、足を引っ張ってしまったけれど、頂上にたどりつけて嬉しかったです。

トナカイ班　村山太河

今回の活動は久しぶりの登山でした。僕も登山は久しぶりで、しかも小さい後輩たちもボーイでは初めての登山だったので、前日から少し不安でしたが、登っているとやはり遅れる子がいました。僕はその子のリュックを持ってペースを下げて歩いたので、トナカイ班のペースは落ち、どんどん後ろの方に下がっていきました。
しかし、ペースを落としたことによって班員に余裕が生まれ、班員たちと会話しながら登山をすることができたり、自然を楽しめたりと、今まではキツいとしか思ってなかった登山が面白く思えてきました。すると、今までよりどんどん活動が楽しく感じられ、後輩たちとの距離も縮まってきたように感じました。
トナカイ班は、高尾山頂に着いたあと、一人脱落してしまいましたが、僕としては「余裕」の大切さに気付き、それを持つことによってどんどん楽しく感じることができる、ということを、今回の活動で学びました。
残念ながら僕は今回の活動で休隊ということになってしまいますが、活動の楽しみがまた一つ増えたBS隊に、受験を終わらせたらすぐに戻ってきたいです。
三年間ありがとうございました。

カモメ班　青木睦歩

今回の登山は一昨年オーバーナイトハイクで通った道のりと同じだった。しかし、その時とは少し違って感じた。
その理由は、僕が班長であるという点だ。今回の登山は、上進スカウトにとってボーイでの初の登山となった。そのため、なかなかうまく登れないスカウトもいた。一昨年ぼくもそうだったかもしれない。しかし今年は班長としてそのスカウトたちのフォローをした。これからもこうした違いを実感することが増えると思う。そのたびに班長としての役割をしっかりと果していきたい。

トナカイ班　榎土守

今回のボーイスカウト活動では、初めての登山をしました。今回の登山は、高尾山に行ってから城山に登り、小仏峠まで歩きました。楽しかったことは、城山でみんなでお弁当を食べた事です。なぜなら皆でしゃべりながら、たのしく食べれたからです。2つ目は、皆でしゃべりながら、歩いたことです。今は新型コロナウイルスの影響で大人数で集まることが、できないから久々にみんなとしゃべれて良かったです。足が痛くてくたくたになってしまったけど楽しかったです。

オットセイ班　佐野浩二

僕にとって二度目の登山だったので、不安と緊張しかありませんでした。重い荷物を背負って歩くのはとても大変で、景色を見る余裕はなくて、必死で前の人について行きました。でも、16キロ歩いたことはとても自信になった気がします。

トナカイ班 今林武士

前夜の天気予報では荒天になるようにいわれていましたが、雨は活動中に降ることは、ほとんどなかったのですが蒸し暑く泥でぬかるんだ道を歩き続けることは、とても疲れました。ただ、ボーイスカウトでいう鍛錬とはこういうことなんだと思いました。みんなの疲れを考えてかコースは短くなりました。靴は泥だらけで正直、帰りの電車の中で恥ずかしかったですが席に座ったら爆睡してしまいました。

トナカイ班　柴沼篤弘

僕がこの前のハイキングで得たものは実にたくさんありました。たとえば筋力がついたことです。なぜそう思ったかというと、今までは重く感じた学校に持っていくリュックサックが、今では軽く感じるようになったからです。他にも僕は歩く速さが速くなった気がします。なぜなら昔は10分で着いた場所が5分で着けるようになったからです。今のは今回のハイキングだけとは言い切れないかもしれませんがそれでも嬉しいです。実は今回ハイキングに行ったのは、僕にとって結構きつかったです。理由は試験2週間前をきっていたからです。ハイキングに行った月の時、一度も休日が無かったのもその理由です。でも、僕は今回のハイキングに行って良かったと思いました。なぜなら僕はハイキングに行った時試験に対して自信がなかったのですが、ハイキングに行って体力や筋力がついたことで試験に対して自信がつきました。試験についてはかなり手応えがあった方だとおもいます。あの時ハイキングに行って本当に良かったとおもいました。さらに僕は山の上で新鮮な空気を吸って、今までのストレスをリフレッシュすることができたと思います。さらに、今回の活動で、僕は周りの人に、疲れないようにたくさん話をしました。おそらく親睦がこれで一層深まったと思います。
そして今回のハイキングについていくつか反省点があります。たとえば、登山靴についてです。僕の靴はサイズが小さくなっていたので、ハイキングの後半、足先がとても痛くなりました。今度靴を買うときは、なるべくサイズが広い靴を買おうと思いました。また、携行食糧についても反省があります。理由はハイキングをするのに僕はカロリーメイト一箱しかいれてなかったからです。休憩しているとき、少ししか食べれず、それも疲れてしまった原因だと思いました。なので、次のハイキングからはもっと多めに持っていくことを心がけたいと思います。あと服についても反省点があります。山を登るのに、半袖半ズボンできてしまったからです。本来山を登るとき、汚れたり、怪我をしてしまう理由で長袖長ズボンで着てくるのが普通ですが、僕はそれを忘れて、半袖半ズボンで来てしまいました。なので、今度からはそのことについても心がけたいと思いました。次のハイキングではこれらのことを意識しながら準備しようと思いました。
これらの成果は、すべて自分の一生において、宝になるとぼくは信じています。次の活動は班のみんなで炊事をすることですが、この活動も今まで通り頑張りたいと思います。次のハイキングも頑張りたいとぼくは思いました。これからもよろしくお願いします。

ローバー隊

蝶々結び

小針恵太

私はこれまで、書くことを避け続けてきた。スカウト活動の感想文をさくらに提出した記憶がないので、今回書くエッセイがボーイスカウトに入って初めての作文かもしれない。今までさくらの文章をまとめてくださった方々、これまでずっと提出しなくてごめんなさい。
私は文字を読むこと、書くことが苦手だ。数学は苦手ではないのだが、数学を文字の羅列で説明されるとそれはもうごめんなさいである。こんな私が今回書くのは「説明」についてである。

7月12日、私はローバースカウトとしてビーバースカウト活動のお手伝いに行った。その日はシーターポン作り（懐かしい！）。ビーバースカウトたちと同じペースでシーターポンを作成するまでは順調だった。しかし問題はシーターポンを完成させた後である。
余った時間で、ビーバースカウトにかた結びと蝶々結びを教えることになった。その時は自分の能力の程、事の大変さを理解しておらず、あっさり請け負ってしまった。しかしいざロープを持ってスカウトたちの前に立つと、指は動いても言葉が出てこない。最初の工程から言葉で説明できなかったのだ。
「まず、、さきっぽとさきっぽをクルッてするじゃん、、？」
この説明で誰がわかるのだろうか。今Wordで文字を打っているが、赤い波線だらけである（Wordには、文章や文法に誤りのある所を赤い波線で示してくれる機能がある）。そのとき私が何を伝えたかったのか、リーダーの中には理解してくれた人もいたかもしれない。しかしそれは、私の言葉をきっかけにリーダーが記憶を引き出しただけであって、蝶々結びを知らないビーバースカウトの中に理解のできた子はいなかっただろう。
その後も結び方をわかりやすく説明することはできず、やり方を見て覚えてもらうしかなかった。このとき文章を書く力のない私は、自分の考えたことを整理し伝わりやすいように変換する力、すなわち説明する力が乏しいことを痛感した。
今年わたしは高校を卒業して大学生になり、ローバースカウトに上進した。楽しむ専門だとそろそろ世間体が悪くなってしまう。そのことを怒ってくれる人もいなくなる。スカウトを楽しませ成長を手伝う立場の人間がこのままではいけない。説明力をつけて立派なローバースカウトになるために、諸先輩方にならって私も本をたくさん読もうと思う（2018年2月：山根くんエッセイ、および2020年6月：日色くんエッセイをぱk、、もとい参考にさせていただいた）。

今から私が書くのは、現時点での私なりの蝶々結びの説明である。これが限界でした。

「まず、両手に紐の先を持ってください。片方①、もう片方②と名前を付けます。①を上、②を下にしてバッテンを作り、①を②の下をくぐって一周させ、両手の紐を引っ張ってください。次に①で輪っかを作ります。②をできた輪っかの周りに巻いて、①と②の間にできた穴に②の根元を入れます。そして②の先っぽが穴に引きずり込まれないように二つの輪っかを両手で引っ張ってください。すると、、できたはずです、、」

次回、ビーバースカウトの前で蝶々結びの説明をするまでには、言葉巧みな言葉の匠になっていることを祈って、、。

会議報告

育成会役員会(LINE会議)　7月19日（日）10:00〜11:00
〇新役員顔合わせ
〇会計報告
〇入団書類の見直しなど

団会議　7月25日　20:00〜　尾山台地区会館第1会議室
〇各隊報告
ビーバー隊：
野外活動だけでなく、シーターポン作り(7/12、尾山台地区会館)など
屋内活動も行いました
8月23日　日帰り活動（こどもの国？）
カブ隊：
8月21〜23日　夏期舎営「長者の森」を予定
ボーイ隊：
8月には夏期キャンプは行わず、デイ・キャンプ(8/2、8/30)のみ
ベンチャー隊：
8月の予定は、8月初めの隊集会で決める
ローバー隊：
「カントリーデー」(9/6)　の企画「水」をテーマに（多摩川河川敷）
〇育成会より　7月19日　育成会役員会（ライン会議）
休隊、退団等の手続き（事務手続き）に関して
〇地区協議会より
「オーストラリア森林火災支援」ワッペンの配布
BS講習会　10月18日　桜が丘小学校体育館
→　7月末に参加申し込み
VS隊50キロONH、BS隊30キロONHは日中に開催予定
BSラリー　中止
BSパトローリー　中止
BVSラリー、CSラリーは検討中だが、おそらく中止
〇カントリーデー（9月7日）　上野毛地区会館大会議室（雨天の場合の会場）
〇尾山台フェスティバルは中止→入団説明会のみを10/18午前中に会議室（大会議室）で開催

会議予定

団会議　8月15日(土) 20:00〜　尾山台地区会館第1会議室
育成会の次回会議は未定